

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間:2024年4月1日～2025年3月31日)



地球にやさしい価値ある再生

捨てれば”ゴミ”になるものも知恵と技術を集結すれば貴重な”資源”になります。私たちは、廃棄物を生産原料やエネルギー源として有効に活用します

有限会社渡辺商店

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
各自治体の許可取得状況	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価，次年度の環境経営計画	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無	9
緊急事態対応試行・訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

環境経営方針

【基本理念】

世界的な地球温暖化による影響は、昨今の大きな課題となっております。オゾン層の破壊、酸性雨、廃棄物の多様化など、重大な問題が山積みで人類そのものが脅かされている現実です。地球上に住む私達一人ひとりが意識的に取り組み、改善に努めなければなりません。

当社は10数名の小規模事業所ではありますが、再生資源回収業、廃棄物処理業に従事する立場から全員がこの命題に積極的に関与し、事業活動の省資源、省エネルギーを目指し環境に配慮した環境経営を進めて参ります。

【基本方針】

- 1． 廃棄物の収集運搬及び中間処理業務を通じ、循環型社会の構築に貢献します。
- 2． 脱炭素社会に向けて収集運搬車両のCO2排出削減に取り組んでいきます。
- 3． 総排水量の節減に努めていきます。
- 4． 生活環境に配慮し地域社会と協調・連携し社会貢献を図ります。
- 5． 環境関連法規を遵守し適正処理に取り組み、また周知に努めていきます。
- 6． 全社員に環境経営方針を周知徹底し、目的・目標を設定するなど活動の継続、教育訓練に努めます。
- 7． 環境方針及び実施結果を報告します。
- 8． 全社員の健康づくりに配慮し、働き甲斐のある職場づくりに努めます。
- 9． 事業活動で使用する機器及び事務用品等はグリーン購入に努めます。

制定日：2006年5月1日

改定日：2024年9月1日

代表取締役 渡辺 良政

組織の概要

更新日：2024年9月1日

- (1) 名称及び代表者名
有限会社渡辺商店
代表取締役社長 渡辺 良政
- (2) 所在地
本 社 山形県米沢市城北一丁目3番28号
赤崩事業所 山形県米沢市大字赤崩字観音下20486-3
MR センター 山形県米沢市直江石提18513-2
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役社長 渡辺 良政 TEL：0238-23-0670
- (4) 事業内容
一般廃棄物並びに産業廃棄物の収集運搬
再生資源処理加工の業務
- (5) 法人設立年月日 昭和28年5月10日
- (6) 資本金 500 万円
- (7) 事業の規模
売上高 14,723 万円

	本社	赤崩事業所	MRセンター	合計
従業員 名	7 名	2 名	3 名	12 名
延べ床面積 m ²	1,367.27 m ²	10,307 m ²	430 m ²	12,104.27 m ²

- (8) 車両及び施設等の状況
■産業・一般廃棄物収集運搬車両 (回収に使用しているものに○)

車 種	台 数	産業廃棄物	一般廃棄物
4 t クレーン車	1	○	
4 t アームロール車	2	○	○
3 t プレス式ごみ収集車	1	○	○
3 t ウイング車	1	○	
3 t アルミバン車	1	○	○
軽トラック	1	○	○



■産業廃棄物処理施設

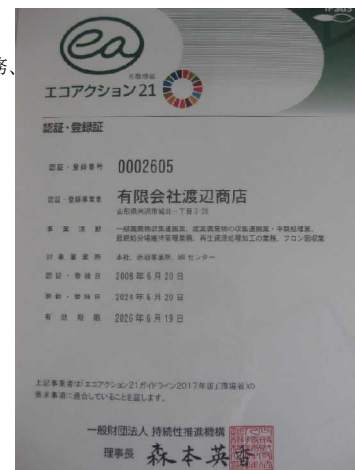
施設の名称	中間処理施設	積替保管施設
本社 積替保管施設		面積32m ² 容量0.8m ³ (上限)
赤崩事業所 中間処理施設・ 積替保管施設	圧縮・切断 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等 13.93 t / 日 (各8時間)	面積 8m ² 容量0.4m ³ (上限)
MRセンター 中間処理施設	圧縮・切断 廃プラスチック類1.82 t / 日、金属くず4.26 t / 日、木くず3.19 t / 日、繊維くず3.72 t / 日、紙くず3.19 t / 日 (各8時間) 溶 融 廃プラスチック類 0.16 t / 日 (8時間) 破 砕 廃プラスチック類 1.6 t / 日 (8時間) 圧縮・梱包 廃プラスチック類 3.712 t / 日 (8時間)	

口認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社渡辺商店
対象事業所： 本 社 山形県米沢市城北一丁目3番28号
赤崩事業所 山形県米沢市大字赤崩字観音下20486-3
MR センター 山形県米沢市直江石提18513-2

事業活動： 一般廃棄物並びに産業廃棄物の収集運搬、
産業廃棄物の中間処理並びに最終処分場維持管理業務、
再生資源処理加工の業務
フロン回収業

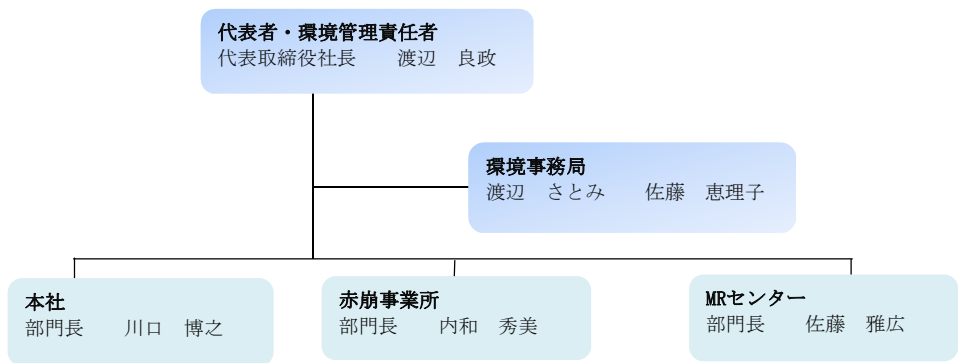
ホームページ： <https://eco-watanabe.com/>



エコアクション21 認証・登録証

環境経営組織図及び役割・責任・権限表

制定日 2024年9月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境方針を定め誓約する ・エコアクション21の取り組みを進める為の経営資源を準備する ・環境管理責任者を任命し、環境経営システム全体を構築し運用する責任と権限を付与する ・エコアクション21全体の取り組み状況を評価し、経営における課題とチャンスの明確化を行う
環境管理責任者	・環境経営システム全体を構築し運用する ・環境目標及び環境活動計画を策定し、全ての従業員に周知する ・環境負荷と環境への取り組み状況の把握及び評価を行う ・環境関係法規等を整理し取りまとめる ・外部からの環境に対する苦情や要望を受け、必要な対応を行う ・環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認する ・経営者にエコアクション21全体の見直しに必要な情報を提供する
環境事務局	・環境方針を全ての従業員に周知する ・エコアクション21の取り組みを適切に実行する為、必要な教育・訓練を実施する ・環境活動レポートを作成し公表する ・環境方針・環境目標及び環境活動計画を達成する為に必要な取り組みを実施する ・環境上の緊急事態を想定し、その対応策を定め定期的な訓練を実施する ・環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を定期的に確認・評価する ・環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況に問題がある場合には、是正処置を行い必要に応じて予防措置をする ・エコアクション21の取り組みを実施するのに必要な文書を作成し、整理する ・エコアクション21の取り組みに必要な記録を整理する
部門長	・環境管理責任者の補佐 ・環境取り組みの自己チェックの実施 ・活動実績の確認・評価 ・事故及び緊急事態への対応
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

各自治体の許可取得状況

《産業廃棄物》

許可区域	業務の種類	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	廃棄物の種類																	
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	石綿含有産業廃棄物
山形県	収集・運搬	第00618009739号	平成31年4月18日	令和7年10月30日	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○	○	◎
宮城県	収集・運搬	第00400009739号	令和3年2月5日	令和10年2月4日		○				○												
山形県	中間処理	第00618009739号	平成31年4月18日	令和7年10月30日						○	○	○	○		○	○						

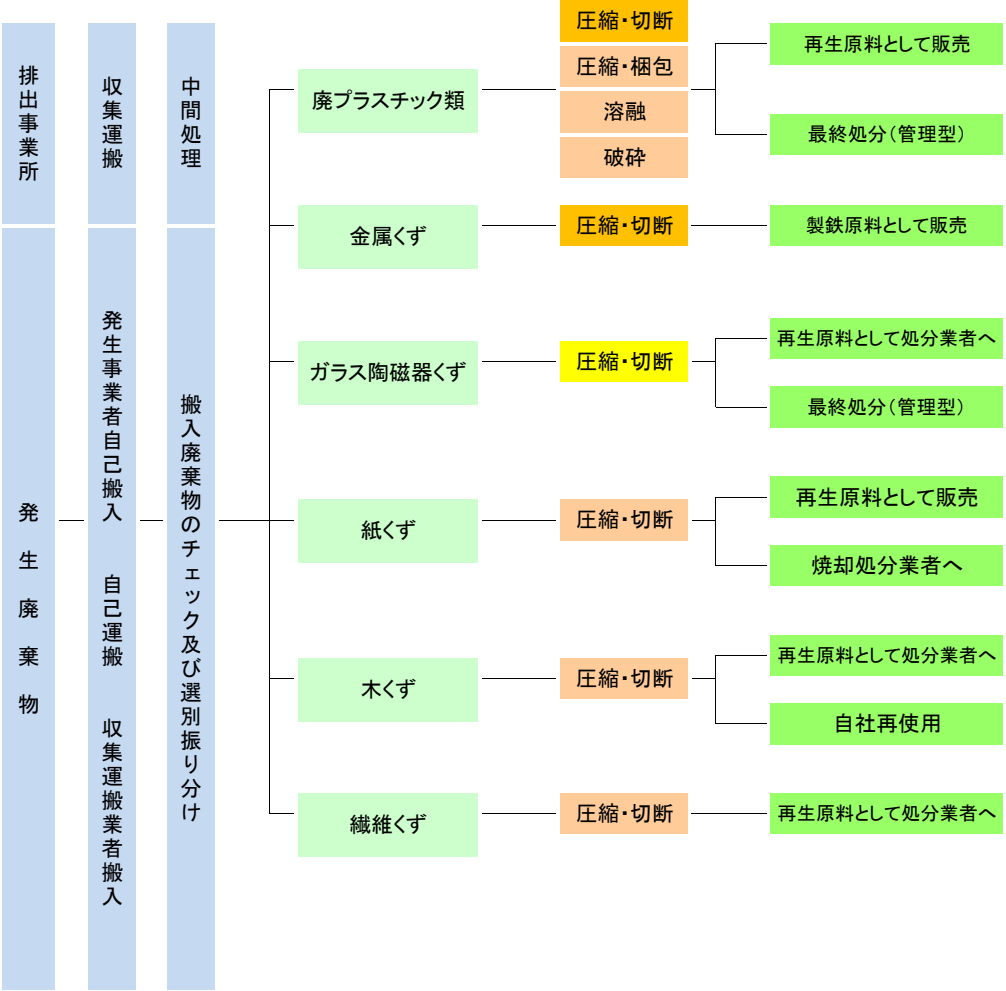
◎は積み替え、保管を行うことができるもの

《一般廃棄物》

米沢市	収集・運搬	第8号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
-----	-------	-----	----------	-----------

《処理工程図》

処分場所 赤崩事業所・MRセンター 赤崩事業所 MRセンター



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	61,101	59,012	51,759
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	189	164	163
総排水量	m ³	135	54	52

※二酸化炭素排出係数は、2021年度東北電力調整後排出係数を用いています（0.435 kg-CO₂/kWh）
 ※二酸化炭素総排出量には灯油を加算してあります

環境経営目標及びその実績

年 度	項 目	基準値 (基準年)	2024年		評価	2025年 (目標)	2026年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素 排出量	kg-CO ₂	15,261	15,108	10,495	○	15,032	14,955
	基準年度比	2023年	99.0%	69%		98.5%	98%
	自動車燃料(運搬車両・営業車)による二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	42,792	42,364	40,219	○	42,150
自動車燃料(運搬車両・営業車)による二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	42,792	42,364	40,219	○	42,150	41,936
	基準年度比	2023年	99.0%	94%		98.5%	98.0%
	上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	58,053	57,472	50,715		57,181.7
一般廃棄物量 (焼却場に持ち込む分)	kg	33.8	33.5	30.4	○	33.5	33.3
	基準年度比	2023年	99.0%	90%		99.0%	98.5%
	水道水使用量 ※	m ³	54.1	53.8	51.5	○	53.6
水道水使用量 ※	基準年度比	2023年	99.5%	95%	※	99.0%	98.5%
	環境に配慮した生産活動	リサイクル率の向上 目標61%以上					
	化学物質の取扱い	第1種フロン類充填回収業	冷媒の種類 回収量	CFC 0.4kg	HCFC 0.08kg	HFC 0.85kg	計 3.8kg

※2023年8月に事務所の使用量を正確に把握する為に、それまで家庭と事務所で共有していたメーターに小メーターを取り付けました。基準値(2023年度)は8月以降の平均値を適用している為、本年度は基準年との正確な比較が出来ていません

口受託した産業廃棄物の処理量

		廃棄物の種類		処理量 t	
収集運搬			廃プラスチック類	256.88	
			廃プラスチック類 水銀使用製品	0.02	
			金属くず	11.02	
			金属くず 水銀使用製品	0.06	
			ガラス陶磁器くず等	2.38	
			ガラス陶磁器くず 水銀使用製品	0.30	
			木くず	56.19	
			がれき類	0.00	
			紙くず	0.61	
			ゴムくず	0.00	
			汚泥	26.89	
			廃油	0.52	
			廃アルカリ	0.00	
			収集運搬量合計	354.87	
中間処理			廃棄物の種類	処理方法等	処理量 t
			廃プラスチック類	圧縮切断赤崩	17.78
			廃プラスチック類	圧縮切断MR	46.84
			廃プラスチック類	圧縮梱包	73.51
			廃プラスチック類	溶融	2.74
			廃プラスチック類	破碎	54.96
			金属くず	圧縮切断赤崩	81.65
			金属くず	圧縮切断MR	1.99
			ガラス陶磁器くず	圧縮切断赤崩	15.93
			木くず	圧縮切断MR	56.54
			紙くず	圧縮切断MR	0.61
	再生資源化等	うち	廃プラスチック類		105.77
			金属くず		83.64
			ガラス陶磁器くず		0.33
			木くず		56.54
			紙くず		0.61
			小計		
			合計		352.55
	中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃棄物の種類	処理方法等	処理量 t
廃プラスチック類			管理型最終処分(委託)	90.06	
ガラス陶磁器くず			管理型最終処分(委託)	15.60	
小計				105.66	
(再生資源化等)		廃棄物の種類	処分方法等	処理量等	
		廃プラスチック類	再生資源(売却)	70.50	
		金属くず	再生資源(売却)	83.64	
		木くず	再使用	12.61	
		廃プラスチック類	サーマルリサイクル	27.65	
		廃プラスチック類	破碎	7.62	
		ガラス陶磁器くず	破碎	0.33	
		紙くず	サーマルリサイクル	0.61	
		木くず	破碎	43.93	
		小計			246.89
				合計	

口受託した一般廃棄物の処理量

廃棄物の種類		処理量 t
事業系	可燃ごみ	229.88
	不燃ごみ	0.00
	資源ごみ()	0.00
	その他:	0.00
	合計	229.88
家庭系	可燃ごみ	95.38
	不燃ごみ	15.15
	資源ごみ()	0.00
	資源ごみ()	0.00
	その他:	0.00
合計		110.53
し尿・汚泥		0.00

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成

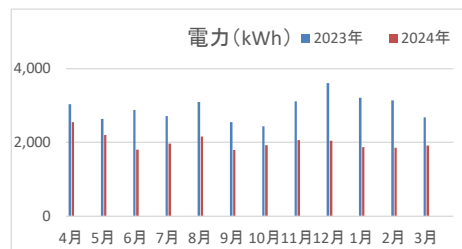
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	MRセンターの電力メーターの有効期限が切れていることに気づき、家主に相談し5月末に取替えてもらいました。この不具合の為に、前年度との対比が出来なくなった為、次年度は2024年度を基準値として比較していく。
・就業時間外の電気のON・OFFの徹底	○	
・搬入量の少ない日は、一定量をストックしてから機械を稼働する	○	

《取組み紹介》

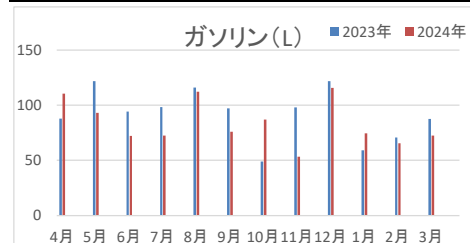


節電啓発ポスターを掲示しています



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年	3,033	2,637	2,879	2,712	3,098	2,546	2,438	3,111	3,603	3,206	3,139	2,680	35,082
2024年	2,548	2,203	1,798	1,961	2,158	1,792	1,923	2,064	2,041	1,870	1,855	1,914	24,127

化石燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	6%削減となりました。
・エコドライブの実践	○	
・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値を保持する	○	

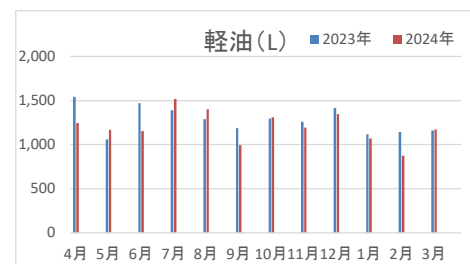


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年	88	122	94	98	116	97	49	98	122	59	71	88	1,101
2024年	111	93	72	73	112	76	87	53	116	74	66	73	1,004

《取組み紹介》

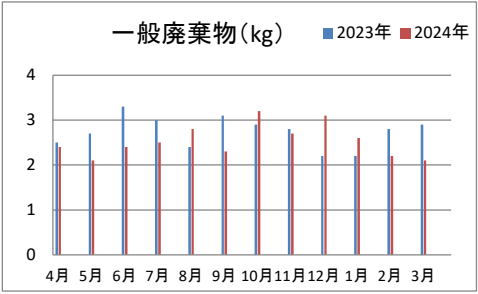


各車両の月毎の燃費を集計し、前年度との比較をグラフ化しています



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年	1,544	1,059	1,471	1,391	1,289	1,187	1,295	1,259	1,415	1,116	1,144	1,162	15,332
2024年	1,243	1,169	1,152	1,517	1,400	994	1,311	1,193	1,345	1,069	874	1,170	14,437

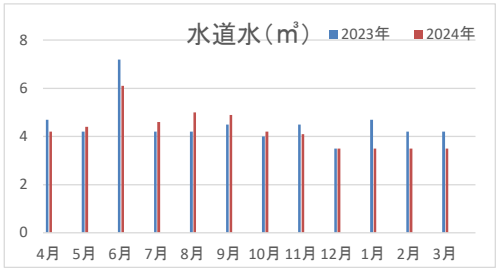
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	現状維持で活動を継続していきます。
・コピー機のトナーカートリッジの回収ルートを確立し、リサイクルを図る	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年	3	3	3	3	2	3	3	3	2	2	3	3	33
2024年	2	2	2	3	3	2	3	3	3	3	2	2	30

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	2023年8月の分岐メーター機設置により、使用量が明確化されてきました。2025年度に向けより節水に心掛けていきます。
・雨水貯留タンクの水を洗車や植物の水やりに利用	○	

《取組み紹介》



ポスターを掲示し節水を推進しています

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年	5	4	7	4	4	5	4	5	4	5	4	4	54
2024年	4	4	6	5	5	5	4	4	4	4	4	4	52

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・分析装置を活用し、非鉄金属の精度を高めリサイクル率の向上を図る	○	リサイクル率は70%に向上しましたが、1事業者より金属の搬入が大量にあった事による一時的な向上です。その為次年度は、前々年度の実績を用いて計画を立てます。 搬入するごみを削減する為に、不燃ごみの中から家電系のごみについて売却先を開拓しました。分別して売却する事により、リサイクル率の向上及び廃棄物処理料金の削減につながりました。
・分別解体作業の工具や備品の後片付けの徹底	○	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

適用される法規	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	ダブリングシャー・コンプレッサー
振動規制法	ダブリングシャー
自動車リサイクル法	廃自動車
家電リサイクル法	エアコン・冷蔵庫・冷凍庫等・テレビ・洗濯機
フロン排出抑制法	エアコン・冷凍庫・冷蔵庫等
消防法（危険物）	危険物の保管
オフロード法	特定特殊自動車
小型家電リサイクル法	パソコン・デジタルカメラ・携帯電話等

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等
特にありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 3月11日	■実施場所： MRセンター
■参加者： 佐藤、中田	
■実施内容 ・消火器の保管場所の再確認 ・消火器の使い方の実践 ・緊急ダイヤル一覧の再確認	
■評価	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
火災訓練手順書に基づいて、適切に訓練を行うことが出来た	
■実施状況の様子 《MRセンター》	
	
	
緊急事態の想定： 重機からの油流出	
■実施日： 本社 3月11日 / 赤崩事業所 3月25日	■実施場所： 各事業所
■参加者： 本社：川口 山田 / 赤崩事業所：岩瀬 斎藤	
■実施内容 重機から油が流出した際の対応実践	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
重機からの油流出対応手順書に基づいて、適切に訓練を行う事が出来た	
《本社》	
	
	
《赤崩事業所》	
	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年5月19日

記録的な大雪の影響により、除雪作業にかかる時間の大幅な増加に伴い重機の軽油使用量は増加しました。また、除雪作業に時間を要し、解体作業が進まなかった結果、加工品の出荷が出来ず売上減少に繋がりました。

この結果を踏まえ、新年度は除雪作業の効率化に繋がるよう除雪箇所の通路の一部を整地し、効率よく除雪作業が行えるよう環境整備を計画していきます。

環境経営方針	☐ 変更なし	☒ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☐ 変更なし	☒ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

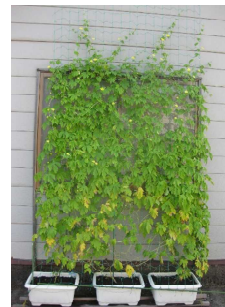
【年間目標を掲示】

毎年、個人で取り組みたいエコアクションを記入してもらっています。身近なところからアクションを起こしていきたいと思っています。



【グリーンカーテン】

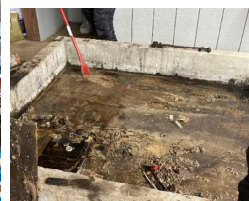
会社西側窓にグリーンカーテンを設置し、日差しの侵入を軽減させています



【5S活動】



廃油保管場所の清掃を行いました



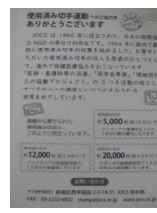
【切手回収】

本活動も4年目になりました。ご賛同下さるお客様も徐々に増え、今年も寄付することが出来ました



公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会へ寄付

アジアやアフリカの保健医療協力を行っている団体です。換金されたお金は、看護学生の教科書代・授業料・奨学生制度等に活用されています



【地域貢献活動】

会社周辺のゴミ拾いを行いました



《本 社》

10月23日



《MRセンター》

11月1日



《赤崩事業所》

10月26日



「よねざわ環境フェス2024」協力

米沢市では「プラスチックごみゼロ宣言」を行っています。よねざわ環境フェスでは、環境問題についていろいろな考え方やアイデアを紹介し、楽しく学ぶ事を目的としています。米沢一廃処理業協同組合では、パッカー車の乗車体験やごみの分別クイズ等を行いました。



【社内講習会】



近年交通事故が多発していることから、事故防止対策の一環として「道路に潜む危険」等のDVDの鑑賞をしながら社内講習会を行いました

